

文系・理系を柔軟に行き来しながら 幅広い興味関心を社会に還元

畦五月さん
UNE SATSUKI

香川大学教育学部
中学校教育コース 家庭領域
教授・博士（学術）



▶ 修士時代から追いかけて続けたテーマ

マメやイモには生で食べると毒性を示すことがある特殊なタンパク質が含まれます。加熱調理するのは、食べやすくするとともに、水と熱を加えると毒性が低減されるからです。しかしその毒性物質も少量だとむしろ有益な場合もあり、ガン細胞の成長を抑制したり、免疫力UPの可能性を探るのが私のテーマです。私が大学進学した頃は男女が平等な時代ではなく、教員なら給与が平等だからと教育学部に進みました。でも実験が面白くなって大学院進学を決意。文系から挑む院試は大変でしたが、奈良女子大学で食物学を専攻、研究者への道を歩み始めました。

▶ 苦しい時も支えてくれた多くの出会い

マメの消費は低迷気味ですが、非常に優秀なタンパク源でもあり、食糧難解決の鍵ともいわれます。私の研究もきっと社会の役に立つと期待していますが、これまでのキャリアの中では長く実験から離れざるをえなかった時期もありました。技術も設備も費用も必要な研究を今なお続け、論文を発表する成果を得られたのは、大学院時代の先輩後輩、共同研究に協力してくださる各分野の専門家をはじめ、周囲のサポートがあったから。人との出会いは、短い時間で非常に多くの学びをもたらしてくれます。そういう人たちに出会えて本当に幸いでした。

▶ 別分野の研究で頭をリフレッシュ

実験の結果が出るまでは、数時間かかることもあります。その待ち時間を何かに活用しようと、ずっと興味があった岡山池田家の江戸時代の後楽園での日記を紐解き始めました。殿へ献上された魚種や調理法を論文にまとめ、後楽園で実食を兼ねたイベントも開催。記録を残すことで後世に文化を伝え、研究成果を地域に還元して、まちの活性化にも発展させていく方法を模索しているところです。分析や実験と歴史文献の調査。まるで違う分野に頭を切り替えるのは、いい気分転換になっています。

Profile

岡山県生まれ。岡山大学教育学部卒業後、奈良女子大学大学院家政学研究科修了。同大学院で博士を取得。美作大学、就実短期大学教授などを経て、2018年香川大学教育学部准教授、2020年から現職。

▶ 趣味は園芸

100種以上の草花を育て、鉢でいただいた蘭なども数年間は毎年咲かせて楽しめます。丁寧に世話を続けたカサブランカが一度に7つも花をつけてくれた時は感激しました。



中高生への Message

実験から離れて「無駄な時間を過ごしている」と感じた時もありましたが、実際はその間もいろんな知識を得て成長していたんだと気づいた時こそ、パッとキャリアが開けたタイミングでした。何事も無駄ではないと思って、興味があることをとにかく「続ける」のが大事！そこから視野も知識も興味関心もどんどん広がり、あちこちにつながるご縁ができて、道が開けていくものだと思います。

教育学部
中学校教育コース

各教科の専門的知識を深め、教職の理論と技術を修得し、国際社会で必要とされる資質、豊かな人間性と実践的指導力、高い課題解決能力を備えた教員を養成するコースです。

